

【資料5】本市のすがた

1 国・県の平均値との比較

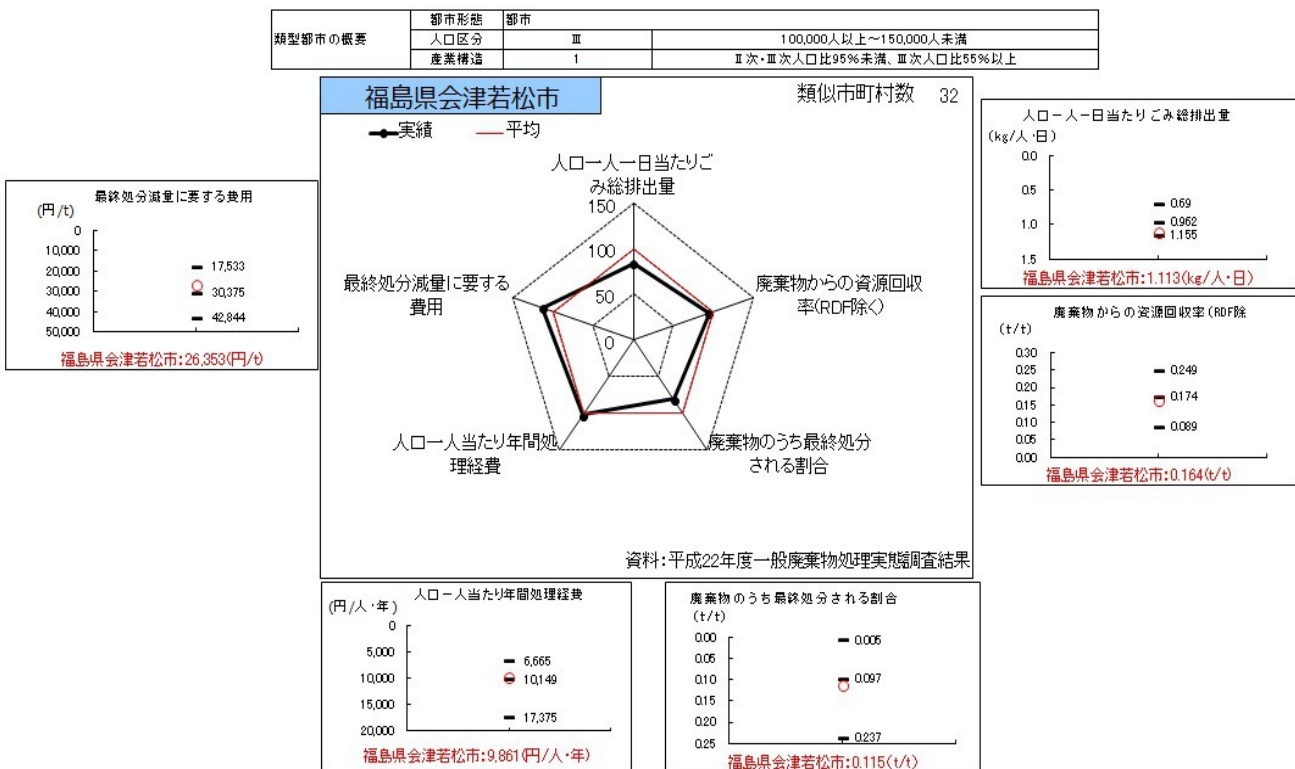
本市のごみ排出量との国・県との平均値との比較は以下のとおりです。

	国	県	本市
1人1日あたりのごみ排出量	976 g	985 g	1,070 g
リサイクル率	20.8%	14.2%	15.8%

※数値は平成22年度

2 一般廃棄物処理実態調査に基づく比較

環境省が毎年実施している、一般廃棄物処理実態調査のデータに基づき全国の同規模の自治体との比較を行ないました。



備考:エネルギー回収量及び温室効果ガスについては、データの把握状況が市町村によって異なるため、参考値として取扱って下さい。また、民間施設への委託分も指標には反映されていないことにご注意ください。

標準的な指標	人口一人一日あたりごみ総排出量 (kg/人・日)	廃棄物からの資源回収率(RDF除く) (t/t)	廃棄物のうち最終処分される割合 (t/t)	人口一人当たり年間処理経費 (円/人・年)	最終処分減量に要する費用 (円/t)
平均	0.962	0.174	0.097	10,149	30,375
最大	1.155	0.249	0.237	17,375	42,844
最小	0.69	0.089	0.005	6,665	17,533
標準偏差	0.119	0.041	0.05	2576	7438
当該市町村実績	1.113	0.164	0.115	9,861	26,353
指数値	84.3	94.3	81.4	102.8	113.2

「年間処理経費」や「資源回収率」は類似団体と同程度ですが、「1人1日あたりのごみ排出量」、「廃棄物のうち最終処分される割合」が平均値以下となっています。

※ 一般廃棄物処理実態調査と本市のごみ処理量の統計とのちがい

一般廃棄物処理実態調査では、以下の違いから、市のごみ処理量の統計データとやや異なる結果が出ています。

- ・実態調査では住民基本台帳に基づく人口を、市の統計では国勢調査による人口を採用しています。
- ・実態調査では、ごみ排出量に集団回収資源物量を含みます。
- ・実態調査には、川ざらい土砂の排出量を含みません。
- ・実態調査は資源化量をごみ排出量に含みますが、本市の場合は「ごみの減量化のためにリサイクルが抑制されないこと」に配慮することから、生活系と事業系の1人1日ごみ排出量の計算に資源化量を含みません。

3 比較結果

自治体ごとに、ごみの分別の種類や収集方法、ごみ処理施設等の規模機能、統計データの補足範囲、など諸条件が異なることから、単純に数値のみですべてを判断することはできませんが、ごみ排出量が全国的にも、県内においてもやや多いことがわかります。

このことから、リサイクル以上にごみ排出量の削減により重きを置いた施策の展開が必要であると考えられます。